

第27回

国有林野管理審議会議案書

東北森林管理局

目 次

諮問箇所位置図1

議案第1号 北斗今別直流幹線増強事業に係る国有林野の貸付けについて2~5

位 置 図.....6~9

諮問箇所位置図

東北森林管理局管内図
(青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県)



議案第1号



凡 例	
	森林管理局界
	森林計画区界
	森林管理署界
	森林管理署支署界
	国有林
	森林管理局
	事務所・森林管理署・支署
	センター

北斗今別直流幹線増強事業に係る貸付けについて

(青森森林管理署管内)

貸付相手方	北海道電力ネットワーク株式会社
用途	特別高圧送電線(架空電線路)敷、一時工事敷
所在地	青森県東津軽郡外ヶ浜町字三厩山国有林 828 林班 か 1 小班 外
区分、種目、数量	土地 森林 約 16ha (送電線敷約6ha、一時工事敷約 10ha)
位置及び現況	<p>本事業対象施設である既設の北斗今別直流幹線は、北海道北斗市の北斗変換所から青森県今別町の今別変換所までを結ぶ直流連系の送電線である。</p> <p>本州側は、青森県竜飛岬の JR 北海道竜飛配電所構内から南方へ 450m 地点の竜飛 CH(ケーブルヘッド)までは地中ケーブルにより、同 CH から今別変換所までは架空線によりつなぐ送電線であり、三厩湾海岸線に平行した形で、海岸沿いの住宅地を避けた山側の森林地帯に位置しており、ごく一部に平坦地はあるものの、大部分は稜線部や支尾根部に多く、その標高は 25m(鉄塔 No.242)～305m(鉄塔 No.262)である。</p> <p>林況については、事業計画地の北側の龍飛岬ではエゾイタヤ、シナノキ、ブナ等の低木林が発達し、岬の南側から中央部にかけてはヒバ、ブナを主体とした高木林が、中央部から南側にかけてはヒバとスギの混交林を主体とし、標高の高い斜面にはブナの二次林が見られる。</p>
事業の概要等	<p>【背景】</p> <p>現在、北海道電力ネットワーク(株)が平成 31 年から運用している北斗今別直流幹線(30 万 kW)及び電源開発送変電ネットワーク(株)が昭和 54 年から運用している北海道・本州間電力連系設備(60 万 kW)は、北海道と本州の電力安定供給確保において重要な役割を果たしている。</p> <p>この度、「北海道本州間の連系設備を活用した広域的な電力取引の活性化」、「再生可能エネルギー導入拡大」及び「北海道エリア内における大規模停電の回避」の観点から、電力広域的運営推進機関は国からの要請を受けて、更に 30 万 kW の北海道本州間の連系設備の増強を図る検討を行い、令和3年5月に北斗今別直流幹線含む既設設備の増強に関する「北海道本州間連系設備に係る広域系統整備計画」を策定し、経済産業大臣に届出された。</p> <p>これにより、北斗今別直流幹線については、設備保有する北海道電力ネットワーク(株)を事業主体として、30 万 kW の増設を行う計画としている。</p>
事業計画	<p>【事業内容】</p> <p>本州側の北斗今別直流幹線については、平成 28 年以降に国有林野貸付を行い、建設工事が行われ、平成 31 年から運用開始されたものであり、架空送電線の設備概要としては、直流電圧 250kV、鉄塔 64 基(うち、国有林野内 52 基)、架空線長 20.9km(うち、国有林野内 17.5km)、鉄塔高約 60m(地形等の条件により異なる)となっている(東北局管内の既設北斗今別直流幹線の貸付面積:約 38ha)。</p> <p>本増強事業では、北斗今別直流幹線に新たに鉄塔腕金を取り付け、1 条の電線を増架する工事が実施される予定であり、工事車両及び資機材運搬車両の走行に関しては、北斗今別直流幹線新設時に使用した国有林道や運搬路等を最大限活用することとし、新たな土地の改変を極力抑えた工事計画としている。</p> <p>送電線設備の増設に伴い、送電線の南西側に追加の送電線敷の国有林野貸付が必要であるとともに、一時的な工事敷の貸付けが必要となる。</p>
	<p>【環境保全措置等】</p> <p>本地域における植物・動物の現況については、北斗今別直流幹線建設当時の平成 24 年度(希少猛禽類は平成 24～25 年度)に哺乳類、鳥類、両生類、爬虫類、昆虫類、平成 24～26 年度に植物相、植物群落を対象に現地調査を行い、生息・分布状況、重要種の生育・分布状況を調査されており、その結果を基に、当時の「国有林野内森林施業等への影響調査報告書」を取りまとめている。</p> <p>希少猛禽類については、新設工事時には有識者の指導の下、営巣地近傍での工事時期の調整や、人工巣設置による営巣地誘導などの保全対策、工事期間中(平成 26 年度～平成 30 年度)の継続的なモニタリング調査を行ってきた経緯がある。</p>

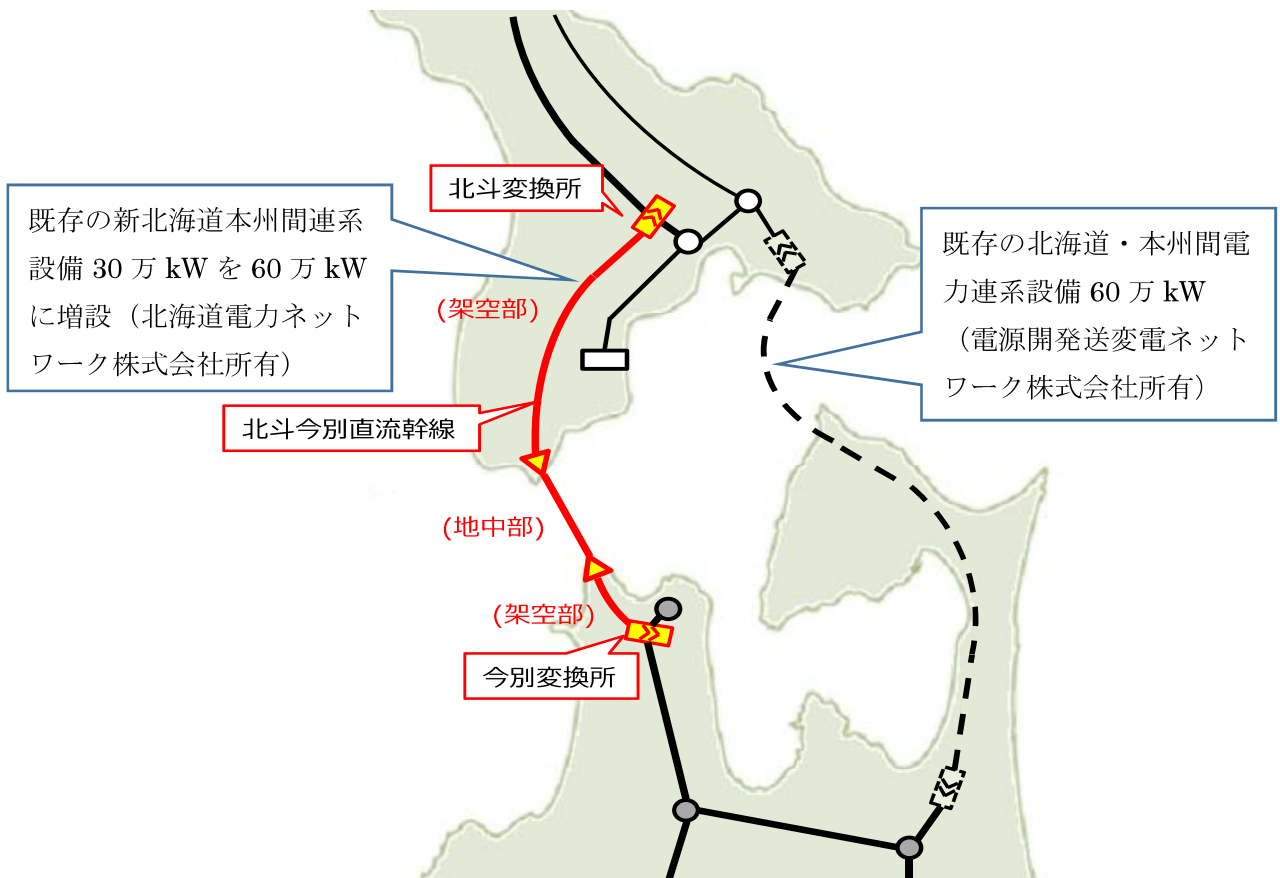
	<p>さらに、増強工事前(令和4年度)のスクリーニング調査も実施しており、十分なデータの蓄積と保全対策の効果確認がなされている状況にある。</p> <p>本増強事業は、腕金の取り付けと電線1条の増架を行うものであり、新設工事と比較して小規模な工事であること及び北斗今別直流幹線建設当時から大きく時間経過していないこと、前述の経緯を踏まえて、新設工事における動植物の現地調査結果を基に増強工事における動植物への影響を検討することとしている。</p> <p>動物に関しては、新設工事時の調査結果データを引用し、今回の増強工事における改変範囲との重ね合わせにより影響評価を実施することについて有識者から問題ない旨の意見を事業者が受けており、希少猛禽類に関しては有識者の指導の下、増強工事完了までの間に実施するモニタリング及び保全対策を実施することとしている。</p> <p>また、植物に関しては、新設工事時の調査結果データを引用することに問題ないが、重要種の生育状況を確認することが望ましいとの有識者からの意見を事業者が受けており、有識者の指導の下、増強工事における影響検討及び保全対策を実施することとしている。</p> <p>増強工事に関する動植物への影響は、新設時の動植物の調査結果データを引用するとともに、希少猛禽類については令和4年度、植物については令和4～5年度に追加調査を行い、これらの結果をもとに評価されており、動植物の生息・生育への影響が考えられるものについては、保全対策を実施することとしている。加えて、新設当時の植物・猛禽類調査に関するモニタリング調査により蓄積したデータと知見を最大限活用しながら、有識者の指導の下、モニタリング調査により状況監視を行いながら、工事期間中の動植物への影響把握とその低減に努める計画としている。</p>
貸付理由	<p>北海道電力ネットワーク(株)では、電力広域的運営推進機関が策定した「北海道本州間連系設備に係る広域系統整備計画」(令和3年5月)に基づき、北海道と本州間のより安定した電力連系を実現するため、既存の北斗今別直流幹線に新たに1条の電線を増架し、30万kWの増強(30万kW→60万kW)を図ることを目的に当該地の貸付けの協議がされているものである。本事業については、公益性の高い一般送配電事業であり、事業計画(用途・利用目的等)が適切であり、国有林野の管理経営に支障は認められないことから貸付けしようとするものである。</p> <p>なお、送電線敷及び工事敷の使用にあたっては、森林法等の許可や利害関係者の同意が必要であり、関係機関との協議のうえ許可申請等の手続を行う予定としている。</p>
法的制限等	水源かん養保安林、貸付地、普通共用林野、薪炭共用林野、分収造林
貸付方法	貸付契約(送電線敷)、使用許可(一時工事敷)
適用法令	<ul style="list-style-type: none"> ・国有林野の管理経営に関する法律第7条第1項第1号(国有林野の貸付け公用、公共用又は公益事業) ・国有財産法第18条第6項 ・会計法第29条の3第5項(随意契約) ・予算決算及び会計令第99条第21号(公共用、公用又は公益事業) <p>※予算決算及び会計令及び予算決算及び会計令臨時特例の規定に基づき随意契約によって国有林野の産物又は国有財産を売り払う場合等について(平成25年3月29日付け24林国管第172号林野庁長官通知)の別紙第1の(二)の2の(1)のヌ(電気事業法第2条第1項8号に規定する一般送配電事業)</p>
審議会開催の根拠	<p>国有林野管理審議会について(昭和39年7月24日付け39林野政第1644号林野庁長官通達)記の第4の1(4)ウにおいて、「新規貸付けの場合にあつては、見込貸付料の年額が、おおむね、200万円以上のもの」を諮問事項として定めており、今回の国有林野貸付案件の面積は、送電線敷約6ha及び一時工事敷約10haを合わせた約16haであり、見込貸付料の年額が200万円を超えることから、国有林野管理審議会に諮問するものである。</p>

北海道本州間連系設備の増設計画の概要

1. 主要事項

- (1) 設備容量：30万kW
(これにより北海道本州間連系設備の総容量は120万kW)
- (2) 送電電圧：250kV（直流）
- (3) 送電亘長：約122km
- (4) 工程（予定）：着工 2023年春頃
 運転開始 2028年3月

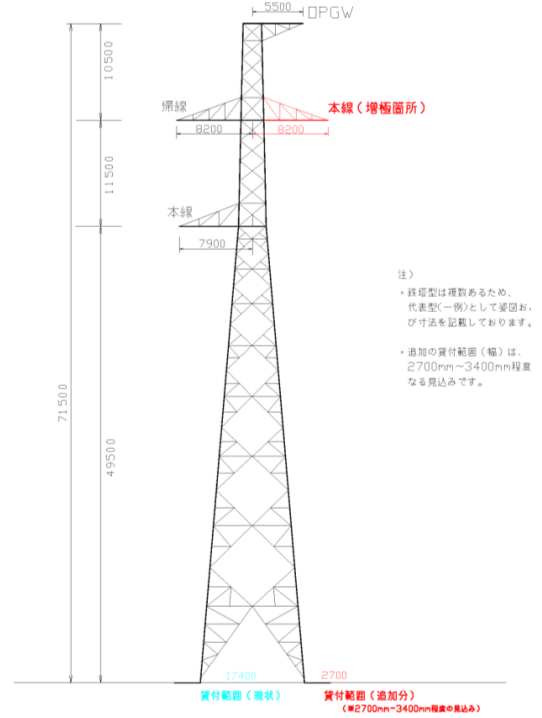
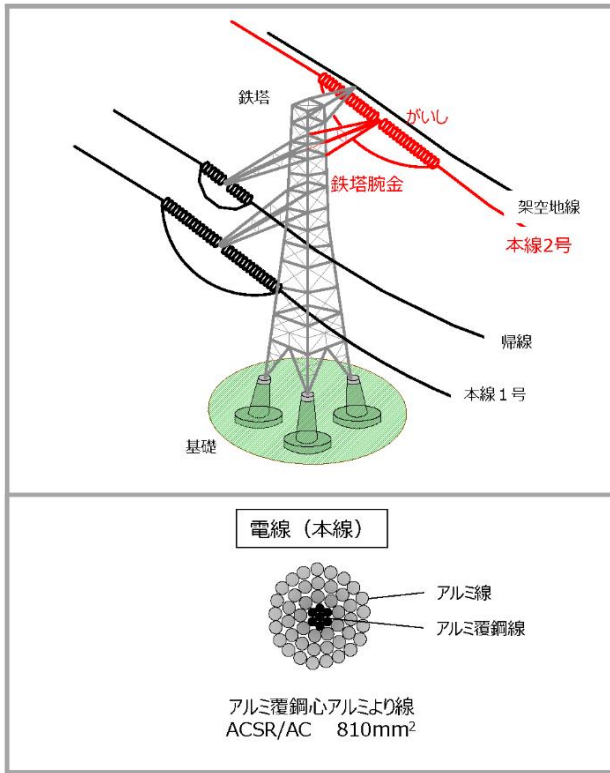
2. 概略系統図（増設ルート）



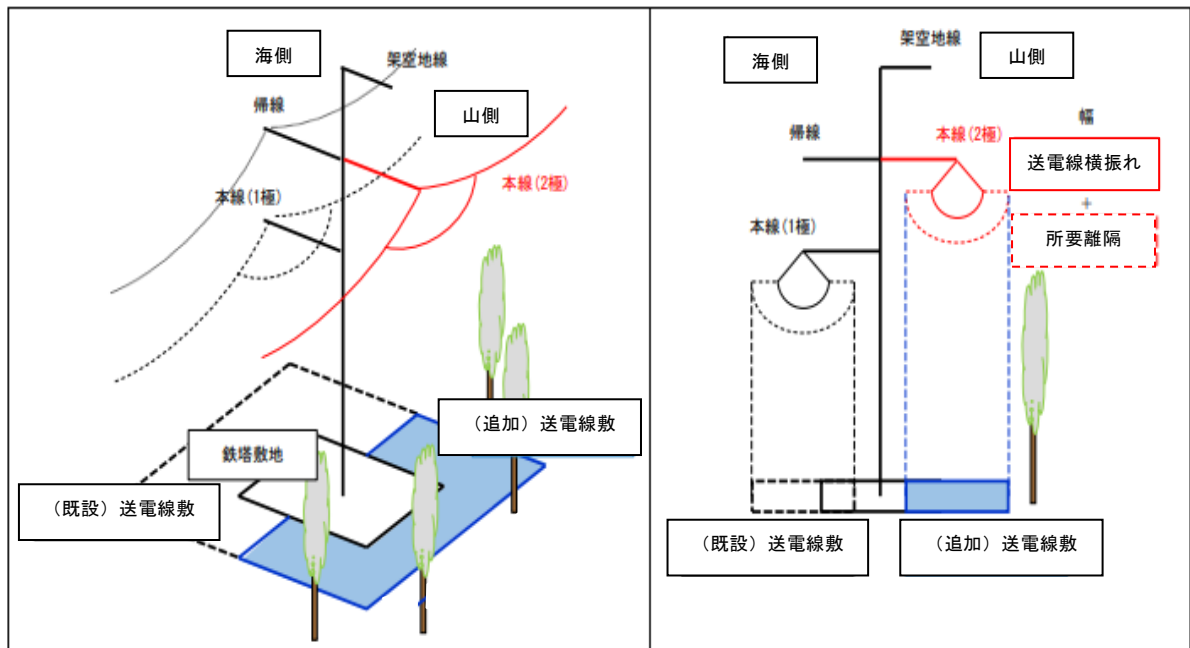
以上

【参考2】

北斗今別直流幹線増強事業イメージ(鉄塔腕金取り付け、電線1条増架)



送電線南西側に追加となる送電線敷のイメージ



位置図(1/4)



- い2 99㉔
- い3 99㉔
- ろ2 119㉔
- い1 ㉔道
- い2 ㉔道
- い3 ㉔道
- い4 ㉔道
- い5 ㉔道
- い6 ㉔道
- い7 ㉔道
- い8 ㉔道
- い9 ㉔道
- い10 ㉔道
- い11 ㉔道
- い12 ㉔道
- い13 ㉔道
- い14 ㉔道
- い15 ㉔道
- い16 ㉔道
- い17 ㉔道
- い18 ㉔道
- い19 ㉔道
- い20 ㉔道
- い21 ㉔道
- い22 ㉔道
- い23 ㉔道
- い24 ㉔道
- い25 ㉔道
- い26 ㉔道
- い27 ㉔道
- い28 ㉔道
- い29 ㉔道
- い30 ㉔道
- い31 ㉔道
- い32 ㉔道
- い33 ㉔道
- い34 ㉔道
- い35 ㉔道
- い36 ㉔道
- い37 ㉔道
- い38 ㉔道
- い39 ㉔道
- い40 ㉔道
- い41 ㉔道
- い42 ㉔道
- い43 ㉔道
- い44 ㉔道
- い45 ㉔道
- い46 ㉔道
- い47 ㉔道
- い48 ㉔道
- い49 ㉔道
- い50 ㉔道
- い51 ㉔道
- い52 ㉔道
- い53 ㉔道
- い54 ㉔道
- い55 ㉔道
- い56 ㉔道
- い57 ㉔道
- い58 ㉔道
- い59 ㉔道
- い60 ㉔道
- い61 ㉔道
- い62 ㉔道
- い63 ㉔道
- い64 ㉔道
- い65 ㉔道
- い66 ㉔道
- い67 ㉔道
- い68 ㉔道
- い69 ㉔道
- い70 ㉔道
- い71 ㉔道
- い72 ㉔道
- い73 ㉔道
- い74 ㉔道
- い75 ㉔道
- い76 ㉔道
- い77 ㉔道
- い78 ㉔道
- い79 ㉔道
- い80 ㉔道
- い81 ㉔道
- い82 ㉔道
- い83 ㉔道
- い84 ㉔道
- い85 ㉔道
- い86 ㉔道
- い87 ㉔道
- い88 ㉔道
- い89 ㉔道
- い90 ㉔道
- い91 ㉔道
- い92 ㉔道
- い93 ㉔道
- い94 ㉔道
- い95 ㉔道
- い96 ㉔道
- い97 ㉔道
- い98 ㉔道
- い99 ㉔道
- い100 ㉔道

- は3 ㉔209Λ80
- に1 ㉔59Λ
- に2 ㉔209Λ80
- に6 ㉔209Λ80
- ほ1 ㉔114Λ77
- ほ2 ㉔209Λ80
- ほ3 ㉔114Λ77
- と1 ㉔59Λ70
- と2 ㉔154Λ90
- と3 ㉔154Λ70
- ち3 ㉔94㉔
- よ ㉔42Λ90分造
- た1 ㉔114Λ76㉔
- た2 ㉔114Λ74㉔
- た3 ㉔114Λ75㉔
- た4 ㉔114Λ76㉔
- た5 ㉔114Λ67㉔
- れ1 ㉔209Λ80
- れ2 ㉔209Λ92㉔
- れ3 ㉔209Λ67㉔

805
わ1 ㉔42Λ70分造
わ2 ㉔41Λ60分造
よ ㉔29Λ60

- に1 179Λ95
- へ3 ㉔209Λ80
- と1 55Λ83
- ち ㉔64Λ90
- ぬ1 ㉔39Λ60
- ぬ2 ㉔38Λ90
- ぬ3 ㉔39Λ90
- ぬ5 ㉔35Λ70㉔
- ぬ8 ㉔32Λ80
- る1 199Λ91㉔
- る2 199Λ83㉔
- わ 199㉔63㉔
- か 199㉔55㉔
- よ 199㉔57㉔
- た1 199㉔59㉔
- た2 199㉔60㉔
- た3 199㉔60㉔
- れ1 43Λ60分造
- れ2 42Λ60分造
- れ3 46Λ70分造
- れ4 46Λ60分造
- ロ1 草
- ロ2 耕
- ロ3 耕
- ロ4 耕
- ロ5 草
- ロ6 草
- 二8 道
- ト1 ㉔道
- リ ㉔道
- ヨ ㉔道

- 807
い5 ㉔30Λ60
ろ5 ㉔38Λ80
は2 ㉔37Λ70
は3 ㉔39Λ70
は4 ㉔37Λ60
に2 ㉔37Λ60
に3 ㉔37Λ80
へ 209Λ76
と1 209Λ83
と2 209Λ72
る1 ㉔93Λ90㉔
そ1 15㉔㉔
そ2 94Λ㉔
そ3 30Λ80㉔
二 ㉔㉔
- 812
リ 209Λ95㉔
ぬ 未143Λ90㉔
ハ ㉔㉔
ニ ㉔㉔
ホ ㉔㉔
- 813
ろ1 ㉔174Λ80㉔
ろ2 ㉔200Λ95㉔
は3 ㉔36Λ90㉔
ほ2 ㉔未170Λ95㉔
へ 199Λ95㉔
口 道

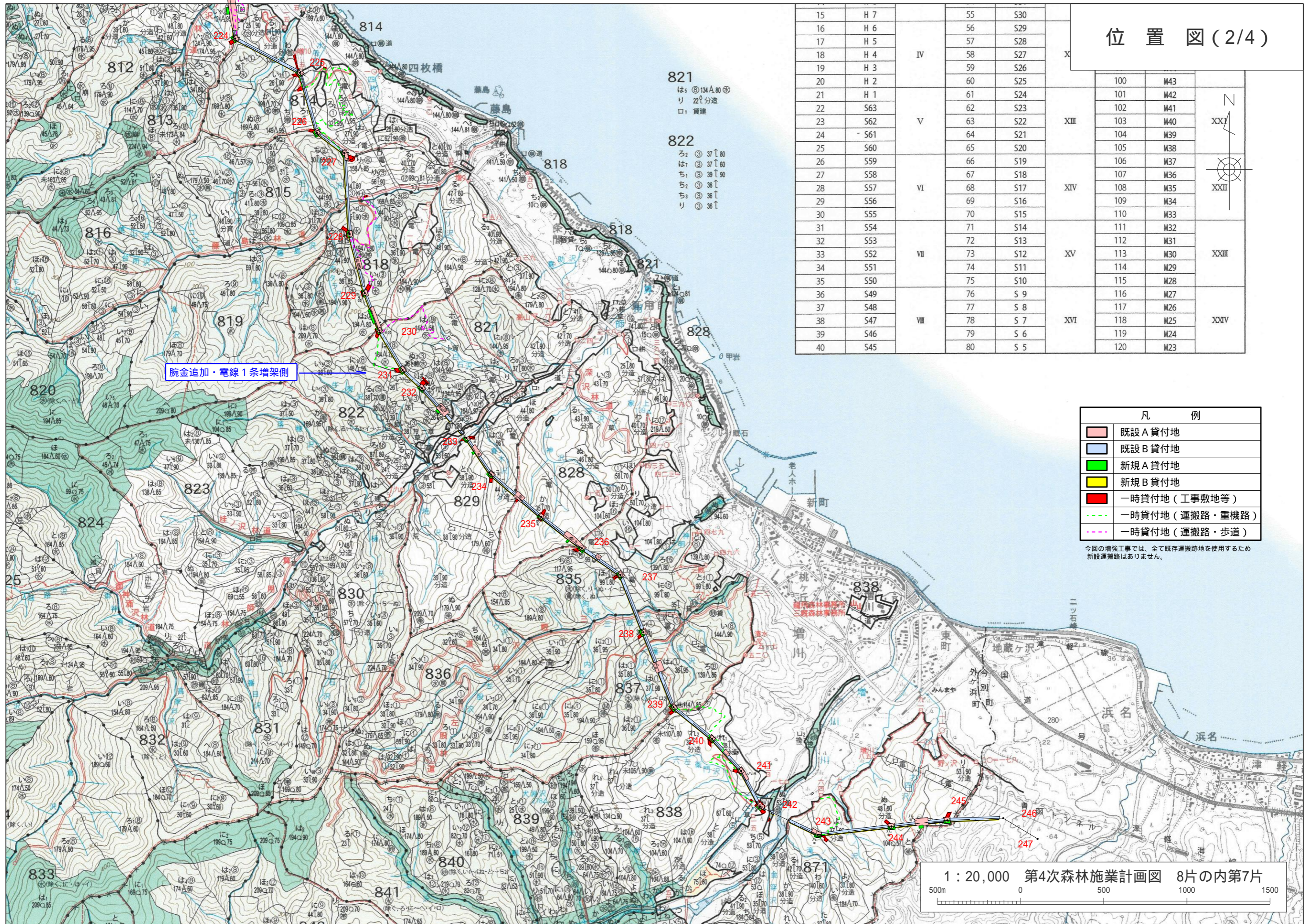
- 808
い2 ㉔38Λ70㉔
ち 46Λ60分造
- 810
は2 ㉔27Λ60㉔

凡 例	
	既設A貸付地
	既設B貸付地
	新規A貸付地
	新規B貸付地
	一時貸付地(工事敷地等)
	一時貸付地(運搬路・重機路)
	一時貸付地(運搬路・歩道)

今回の増強工事では、全て既存運搬路を使用するため新設運搬路はありません。

腕金追加・電線1条増架側

1 : 20,000 第4次森林施業計画図 8片の内第7片
500m 0 500 1000 1500



位置図(2/4)

15	H 7	IV	55	S30	X	100	M43	XXI
16	H 6		56	S29		101	M42	
17	H 5		57	S28		102	M41	
18	H 4		58	S27		103	M40	
19	H 3	V	59	S26	XIII	104	M39	XXII
20	H 2		60	S25		105	M38	
21	H 1		61	S24		106	M37	
22	S63		62	S23		107	M36	
23	S62	VI	63	S22	XIV	108	M35	XXIII
24	S61		64	S21		109	M34	
25	S60		65	S20		110	M33	
26	S59		66	S19		111	M32	
27	S58	VII	67	S18	XV	112	M31	XXIV
28	S57		68	S17		113	M30	
29	S56		69	S16		114	M29	
30	S55		70	S15		115	M28	
31	S54	VIII	71	S14	XVI	116	M27	XXIV
32	S53		72	S13		117	M26	
33	S52		73	S12		118	M25	
34	S51		74	S11		119	M24	
35	S50		75	S10		120	M23	
36	S49		76	S 9				
37	S48		77	S 8				
38	S47		78	S 7				
39	S46		79	S 6				
40	S45		80	S 5				

凡 例	
	既設A貸付地
	既設B貸付地
	新規A貸付地
	新規B貸付地
	一時貸付地(工事敷地等)
	一時貸付地(運搬路・重機路)
	一時貸付地(運搬路・歩道)

今回の増強工事では、全て既存運搬跡地を使用するため
新設運搬路はありません。

1 : 20,000 第4次森林施業計画図 8片の内第7片
500m 0 500 1000 1500

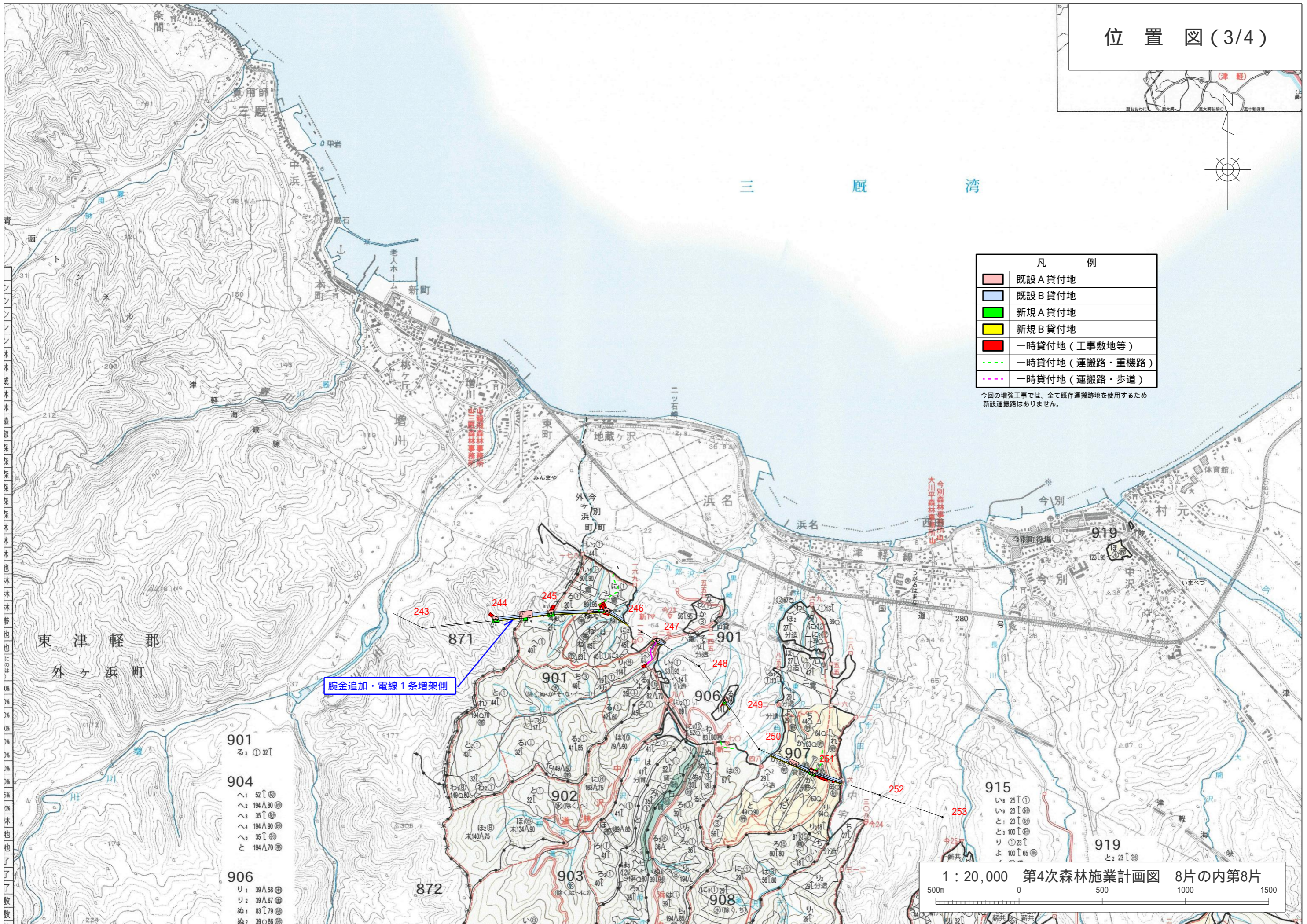
位置図(3/4)



三 厩 湾

凡 例	
	既設A貸付地
	既設B貸付地
	新規A貸付地
	新規B貸付地
	一時貸付地(工事敷地等)
	一時貸付地(運搬路・重機路)
	一時貸付地(運搬路・歩道)

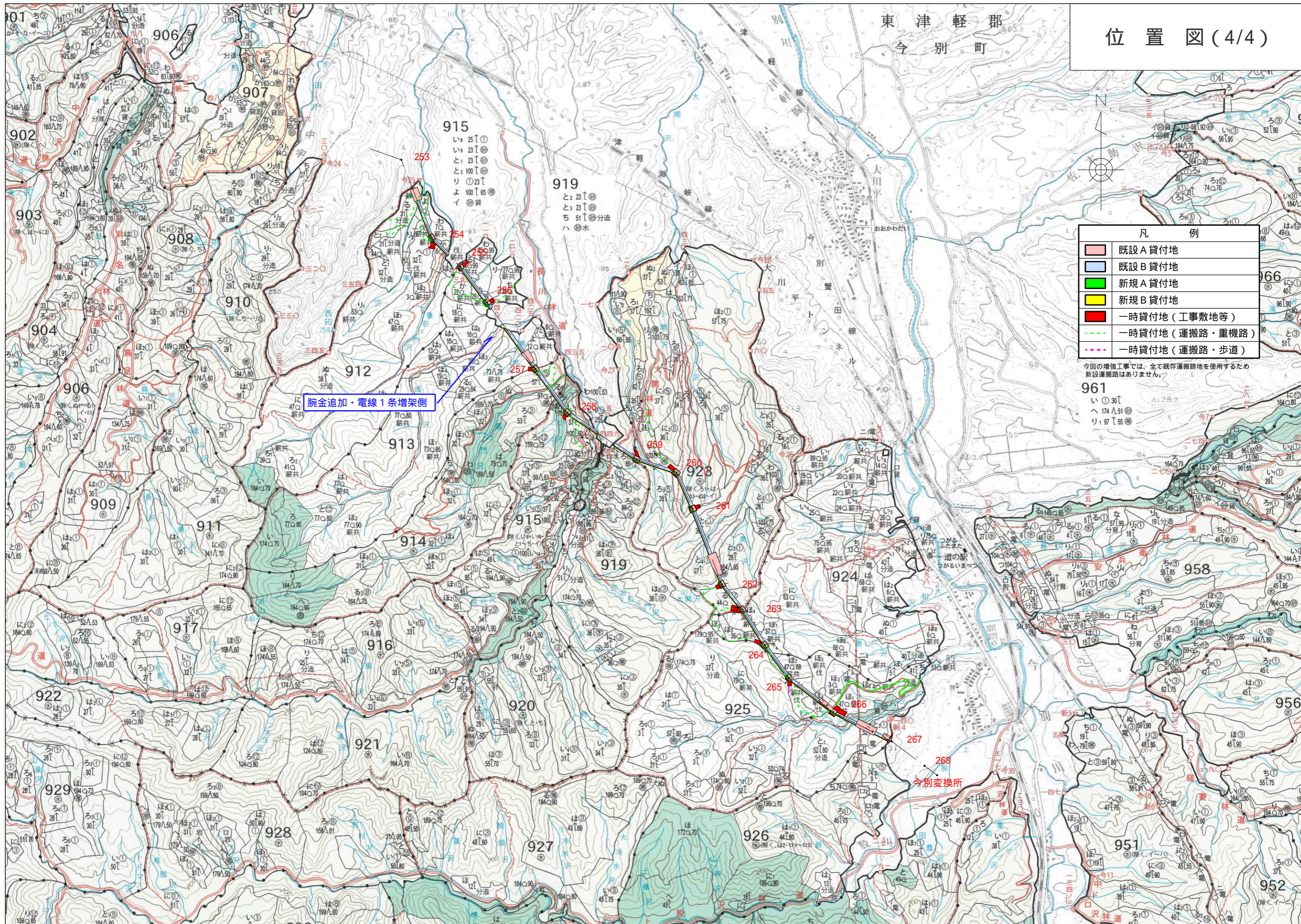
今回の増強工事では、全て既存運搬跡地を使用するため
新設運搬路はありません。



東 津 軽 郡
外ヶ浜町

腕金追加・電線1条増架側

1 : 20,000 第4次森林施業計画図 8片の内第8片
500m 0 500 1000 1500



凡 例	
	既設A貸付地
	既設B貸付地
	新規A貸付地
	新規B貸付地
	一時貸付地(工事敷地等)
	一時貸付地(運搬路・重機路)
	一時貸付地(運搬路・歩道)

今回の増強工事では、全て既存運搬路地を使用するため
新設運搬路はありません。

腕金追加・電線1条増架側

今別変換所